

2024年度内に5,000回開催 50万人以上参加を達成予定！

パラスポーツを通じて共生社会への気づきや学びの機会を提供する「あすチャレ！」 -4月から事業者への義務化「合理的配慮の提供」に対応した研修プログラムも-

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ | 東京都港区、会長 山脇康）が提供するパラスリートを中心とした講師たちによる「あすチャレ！」は、誰もが活躍できるダイバーシティ&インクルージョン(D&I)社会の実現を目的に、日本全国、小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラム、企業・団体・自治体・大学向けの研修プログラムとして提供しています。

2016年度にスタートした「あすチャレ！」は、2023年度は年間878回実施、85,675人が参加し、8年間で4,671回、49万人以上が参加するプログラムへと、内容を拡大しながら成長してきました。

2024年度は株式会社JTB、株式会社プリチストン、日本電気株式会社（NEC）、中外製薬株式会社、日本航空株式会社（JAL）、株式会社アシックスの協賛6社の皆さんと協力しながら、本日9日（火）開催の「あすチャレ！ Academy」をスタートに年間900回以上のプログラム提供を目指します。

「あすチャレ！」公式サイト：<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/outline/>



2023年度「あすチャレ！」実績とトピックス

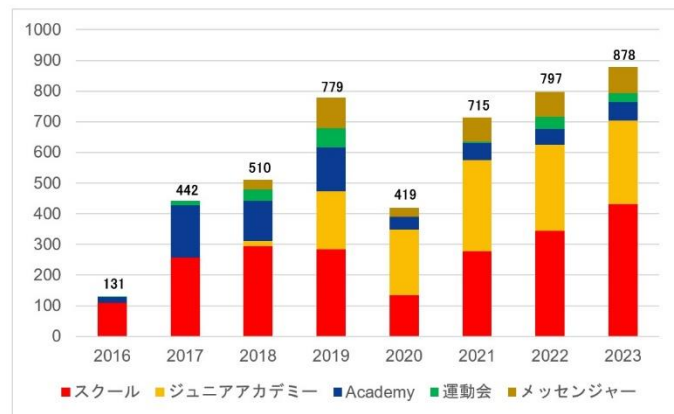
◎2023年度のプログラム別実績（開催回数、参加人数）

プログラム	スクール	ジュニアアカデミー	Academy	運動会	メッセンジャー	合計
開催回数 (単位:回)	432	271	62	28	85	878
対面	432	248	35	28	77	820
		23	27		8	58
参加人数 (単位:人)	38267	22655	3,469	2963	18,321	85,675

- ★2023年度の「あすチャレ！」トピックス
- ・目標の800回を上回る878回開催（2026年度「あすチャレ！」開始以来、最高の開催回数）
- ・特別支援学級、特別支援学校での開催が30回と過去最高となる。
- ・2024年4月からの事業者に対する「合理的配慮の提供」義務化に先立ち、「あすチャレ！ Academy」合理的配慮編のニーズが拡大

※合理的配慮編については、[ニュースレター](#)もご参照ください。

◎2016年度～2023年度までのプログラム別開催回数



◎2016年度～2023年度までの都道府県別開催回数(累計)

地域	地域計	都道府県	都道府県計	スクール	ジュニアカ	Academy	MSG	運動会	地域	地域計	都道府県	都道府県計	スクール	ジュニアカ	Academy	MSG	運動会
北海道	158	北海道	158	72	62	10	10	4	近畿地方	680	三重県	42	32	8	0	2	0
東北地方	252	青森県	44	27	8	5	3	1	中国地方	194	滋賀県	39	11	15	0	13	0
		岩手県	49	26	15	6	1	1			京都府	43	10	23	4	4	2
		宮城県	68	56	4	4	3	1			大阪府	307	181	44	57	21	4
		秋田県	9	4	3	2	0	0			兵庫県	185	115	33	20	15	2
		山形県	22	16	3	2	1	0			奈良県	50	35	11	0	4	0
		福島県	60	39	7	8	1	5			和歌山県	14	8	6	0	0	0
		茨城県	58	30	15	3	8	2			鳥取県	8	6	1	0	1	0
関東地方	2407	栃木県	30	19	8	0	3	0	島根県	37	33	4	0	0	0		
		群馬県	41	10	29	2	0	0	岡山県	26	13	8	2	2	1		
		埼玉県	237	144	63	12	12	6	広島県	69	43	10	11	4	1		
		千葉県	418	158	229	10	19	2	山口県	54	26	20	1	4	3		
		東京都	1,382	422	276	381	143	130	徳島県	13	7	4	2	0	0		
		神奈川県	271	73	92	24	78	4	香川県	68	35	12	19	1	1		
		新潟県	96	64	23	6	1	1	愛媛県	22	16	3	3	0	0		
中部地方	614	富山県	19	14	3	2	0	1	高知県	18	15	3	0	0	0		
		石川県	36	20	6	4	5	0	福岡県	77	16	31	22	5	3		
		福井県	7	4	1	1	0	1	佐賀県	19	16	3	0	0	0		
		山梨県	33	26	3	1	2	1	長崎県	35	20	11	3	1	0		
		長野県	130	68	37	9	12	4	熊本県	32	21	8	2	1	0		
		岐阜県	66	45	14	2	5	0	大分県	15	12	2	1	0	0		
		静岡県	89	20	45	13	7	4	宮崎県	42	39	3	0	0	0		
愛知県	140	47	58	17	12	6	鹿児島県	12	9	0	3	0	0				
北海道 東北 関東 中部 計	3,431	1,404	1,004	524	326	173	九州・沖縄地方	242	123	724	266	152	78	17			
近畿地方	680	近畿 中国 四国 九州 計	1,237	724	266	152	78	17	海外(シンガポール)	3	3	0	0	0	0		
計	4,671	2,131	1,270	676	404	190											

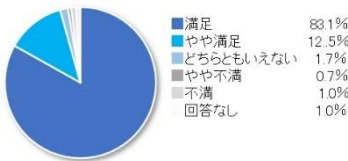
「あすチャレ！」プログラム アンケート結果より

あすチャレ! スクール

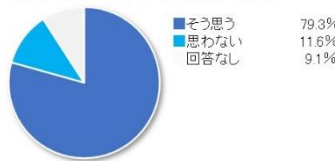
小・中・高・特別支援学校等向けバラスポーツ体験型出前授業

「あすチャレ！スクール」教職員アンケート（2023年4月～9月回収分アンケートの集計より）

◎満足度



◎実施前と実施後で学校の雰囲気、児童生徒の中で変化があったと思うか



授業に「あすチャレ！スクール」を導入した教職員に対してアンケートを実施。

「満足」と「やや満足」をあわせて95.6%が満足度を感じていると回答。また実施前後の学校の雰囲気や児童生徒の変化の有無に関しては、79.3%が変更があったと思うと回答。

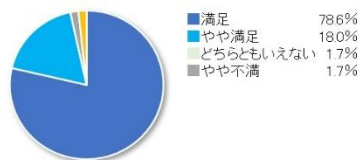
（2023年4月から9月回収分アンケートの集計より）

あすチャレ! ジュニアアカデミー

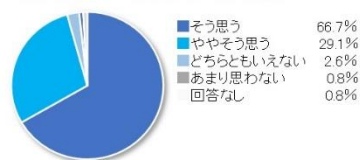
小・中・高・特別支援学校等向けパラスリット講師と一緒に共生社会を学ぶワークショップ型授業

「あすチャレ！ジュニアアカデミー」(対面) 教職員アンケート（2023年4月～9月回収分アンケートの集計より）

◎満足度



◎実施前と実施後で学校の雰囲気、児童生徒の中で変化があったと思うか



授業に「あすチャレ！ジュニアアカデミー」(対面)を導入した教職員に対してアンケートを実施。

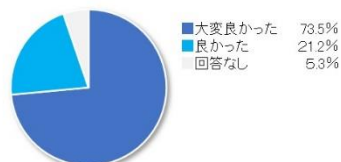
「満足」と「やや満足」をあわせて96.6%が満足度を感じていると回答。また実施前後の学校の雰囲気や児童生徒の変化の有無に関しては、95.8%が変更があったと思うと回答。（2023年4月から9月回収分アンケートの集計より）

あすチャレ! Academy

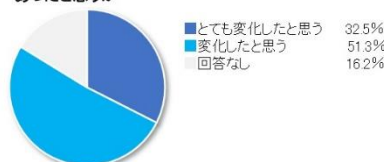
企業・団体・自治体・大学向け研修プログラム。2024年4月から事業者に対して義務化となった「合理的配慮の提供」に対応したプランも提供

「あすチャレ！Academy」参加者アンケート（2023年4月～2024年3月回収分アンケートの集計より）

◎満足度



◎実施前と実施後で障がいに対する意識の変化があったと思うか



「あすチャレ！Academy」の参加者に対してアンケートを実施。

「大変良かった」と「良かった」をあわせて94.7%が満足度を感じていると回答。また実施前後の障がいに対する意識の変化の有無に関しては、「とても変化した」と「変化した」をあわせて83.8%が変更があったと思うと回答。

（2023年4月から2024年3月回収分アンケートの集計より）

「あすチャレ！」5つのプログラムの特徴について

		あすチャレ! スクール	あすチャレ! ジュニアアカデミー	あすチャレ! Academy	あすチャレ! 運動会	あすチャレ! メッセージャー
対象	小・中・高 特別支援学校 児童生徒	○	○ 小4以上対象		○	○
	企業・団体 自治体・大学 (満18歳以上)			○	○	○
内容		体験授業 *デモンストレーション、 講話もあり	ワークショップ型授業	研修	運動会	講演
受講形式		対面	オンライン または 対面	オンライン 対面 ハイブリッド	対面	オンライン または 対面
対象地域		全国 ※一部対象外の地域あり				
時間		90分	〈オンライン〉 小学校：45分 中・高等学校：50分 (授業1コマ) 〈対面〉 90分	≪コミュニケーション編≫ 〈オンライン〉90分 〈対面〉120分 〈ハイブリッド〉120分 ≪合理的配慮編≫ 〈オンライン〉60分または90分 〈対面〉60分または90分 〈ハイブリッド〉60分または90分 ≪カスタムメイド≫ 応相談 ≪ファミリーアカデミー≫ 〈オンライン〉60分 〈対面〉60分 〈特別版〉180分～	2～5時間 ※それぞれ実施内容により ご相談	実施内容・講師により ご相談

【日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ）について】

2015年5月に活動を開始した日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ）は、「SOCIAL CHANGE with SPORTS」をスローガンに、パラスポーツを通じて、一人ひとりの違いを認め、誰もが活躍できるダイバーシティ&インクルージョン（D&I）社会の実現を目指しています。

設立以来、パラリンピック競技団体の運営支援とパラアスリートの練習環境整備、普及啓発イベント実施などを目的とした「日本財団パラアリーナ」の運営、そして約80名のパラアスリートを中心とした講師たちと一緒に知る、学ぶ、体験する、小・中・高・特別支援学校向け教育プログラムと、企業・団体・自治体・大学向けの研修プログラム「あすチャレ！」を展開しています。

※2022年1月1日付けにて団体名を日本財団パラリンピックサポートセンターから「日本財団パラスポーツサポートセンター」に改称いたしました。

▽パラサポ公式サイト <https://www.parasapo.or.jp/>

